

みなみじゅうじせい



【学校教育目標】笑顔いっぱい

ので

～やる気・やさしさ・根気強さのある みなみっ子の育成を図る～

長崎市立南長崎小学校 校長 宇土 衛

心を見つめる教育週間

6月23日(月)～29日(日)は、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」でした。長崎県内ではこれまでに、5月から7月にかけて、子どもの命がなくなるという悲しいことが何度か起こってきました。自分で自分の命を終わらせた子もいれば、ある日突然、命を奪われた子もいました。特にこの時期にそういった、命に係わるが多かったので、県内全ての小中学校で、「心を見つめる教育週間」を行い、しっかり自分の命のこと、周りの人の命について学んでいます。

南長崎小学校では、23日(月)に全校放送で週間の始まりを伝え、25日(水)全校集会(リモート)で、「命の大切さ」についてふれました。「命」とは、

だ ～ 誰もが一つもっていて
い ～ 一度なくすと戻らない
じ ～ 自分が自分である証

だから、「だ・い・じ」にしましょうと伝えました。自分の命も他人の命も大事にしてほしいと願います。また、27日(金)には、全学年道徳科の授業参観を行い、子どもたちの様子を見ていただきました。

保護者の皆さまには、教育週間中、お忙しい中、多数ご来校いただきありがとうございます。子どもたちの授業態度はどうだったでしょうか。特に1年生の保護者の皆さまにとっては、入学して3カ月弱ですが、お子さんの成長を感じることができた

はないでしょうか。これから、より子どもたちが成長できるよう、しっかりと支えてまいります。



人権ワークショップ

保護者の皆さまが学級懇談会中、子どもたちは給食調理場室横の会議室で、教務主任の佐藤先生と一緒に「人権学習ワークショップ」を行っていました。



授業参観後の次の時間に学級懇談会を開く学校は私自身初めてだったので『こんな工夫があったんだ～!』と目から鱗でした! とは言っても、これは人権学習に秀でた佐藤先生が本校にいらっしゃることのできるスゴ技だと思っています。子どもたちも楽しく人権について学ぶことができました。